

中国デザイン専門学校
学校自己評価報告書
総括公表版
(2024年度)

2025年6月

学校法人第一平田学園
中国デザイン専門学校

令和7年6月1日
学校法人第一平田学園
中国デザイン専門学校
校長 長船 圭二

学校自己評価の公表について

(総括)

1.当校における学校自己評価の取り組みについて

平成19年度に学校教育法施行規則が改正となり、専門学校による学校自己評価の実施、公開義務化されました。学校法人第一平田学園中国デザイン専門学校は学校法人・専門学校が果たすべき社会的責任として、学校自己評価を重要なものと認識し、平成21年度より組織的取り組みに着手しました。令和6年度においても、同じく学校自己評価を実施しましたので、ここにその結果を公表いたします。

学校自己評価報告記載担当者

平田 眞一（学校法人第一平田学園 理事長）
長船 圭二（中国デザイン専門学校 校長）
戸田 陽子（法人事務局長）
平田 真代（総務課 課長）
花田 洋通（教務課 課長）
長船 圭二（兼:広報課 課長）

2.令和6年度学校自己評価の結果について

本校は、教育基本法及び学校教育法の趣旨にのっとり、デザイン関連分野に関する専門的学術を教授し、その技術を修得させると共に、時代の変化・多様性に適合させ、広く社会に貢献できる人物の育成を目的とし、日々教育活動をおこないます。その為にも学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を定期開催し、学外業界情報を定期的に取得し、学科ごとの人材教育到達目標を定めています。今後、多様化する社会環境の中、さらに変化し続ける教育現場として、職業教育活動の新たな取り組みを創造し、社会から求められる教育現場になり続けるよう教職員全員が同じビジョンで取り組みます。

3.評価項目の達成及び取組状況

進捗具合の数値は、4段階評価の点検小項目進捗具合を平均した数値を示しています。

※適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

(1)教育理念・目的

進捗具合:3.2	特記事項:職業実践専門課程認定(4学科)
----------	----------------------

信頼度の高い総合デザイン専門学校の確立をかね、その具体目標「教育指針」「学生指導」「育成する人材像」の実現をめざしています。その目標実現のためにも、非常勤講師を含む講師全体会、講師分科会を前後期ごとに定期開催しています。合わせて企画会議、職員会議等を通じて教育理念と学校中期計画を掲げ、教職員全体と共有することができています。短年度でのPDCA サイクルに基づき、社会ニーズの調査・分析を繰り返し、教育計画・事業計画をさらに明文化して関係機関へ伝達を行います。

「デザイン教育の新たな価値の創造」をテーマに、多様化する社会に向けた柔軟な教育現場を作り上げることが今後、大きな取り組み事項となることを全教職員に共有いたします。

近年の事業目標である「教育現場のDX化、教職員のデジタルリテラシー教育、AI教育の発展」などへ積極的に取り組むことが必要であり、今後も継続課題となります。

(2)学校運営

進捗具合:3.6	特記事項:学内ネットワークシステム利用・情報公開
----------	--------------------------

学校運営では本学園の外部関係理事を複数配置し、事業報告書及び事業計画書を作成・提出し、意思決定をおこないます。また、学園組織図及び教職員組織図を持って、意思決定プロセスを必要に応じて細かくルート化することができています。

運営組織・意思決定・共有事項については総務課、教務課、広報課毎に年間計画書を作成し、月間報告、中間報告、年間報告を実施することができています。学内ネットワークシステムを導入しデジタル申請やネットワーク上での採決などの効率化に取り組むことができています。

学校研修基本規定を作成し、体系的かつ合理的に人材育成及び教職員研修に取り組める体制を構築している。個人研修年間計画書を教職員が作成できる環境づくりが実施できている。

(3) 教育活動

進捗具合:3.3	特記事項:教育課程編成委員会・関係者アンケート
----------	-------------------------

専門的な知識・技能を学び、職業能力を修得すると同時に社会人としての基礎を身につけられるように、挑戦・努力・継続を学習目標としています。教育課程編成委員会での外部委員の意見を主に、カリキュラム編成会議を年間通じて定期開催しています。また、前期と後期に学生・保護者アンケートを実施し、学年、学科、専攻ごとに就学に関わる情報を取得しています。様々な情報を集約し、社会に求められる職業技術を身につけられるカリキュラム開発に取り組んでいます。企業関係者アンケートから今後本校在校生にとって必要な社会人能力を可視化し、卒業までのキャリア教育プランの再構築が今後の大きな課題となります。

授業シラバスのデータ管理システムを導入し、データ管理化に着手。システム導入に移行して、管理・システム運営を安定させて、長期的運用が今後の課題となります。

本校では全教員立会いのもと、成績判定会議を開催しています。取得単位数が少ない在校生や成績不振者に対する対応も教員間で共有し対応します。

キャリア教育の一環として、資格取得教育の目標数値化を行い、資格・免許等の取得率向上を図る教育プランを構築することが課題となります。

(4) 学修成果・教育成果

進捗具合:2.8	特記事項:CtoC System・インターンシップ
----------	---------------------------

本校では職員会議、教員ミーティングを通じて、月間就職活動状況を教職員全体で把握しています。特に地元就職志向が強い傾向を把握しており、県内就職先を常に開拓し続けています。

キャリアセンターを創設し、今後のキャリア教育・就職支援体制を強化しています。ディプロマポリシーの元に学修成果を視覚化し、卒業年度生の習熟度を計測することが今後の課題となります。

本校独自の就職支援システム CtoC システム(産学連携事業)をさらに活用し、各分野企業から卒業生・在校生の社会的評価を集約、卒業までの在籍期間中に必要なキャリア育成、そして各業界に必要な知識技術等の把握を今後も継続して行う。

(5) 学生支援

進捗具合:3.4	特記事項:CtoC System・就職ガイダンス・担任制
----------	------------------------------

本校では全ての在学生在が所属するクラスに担任制を用いて、学生対応を実施しています。多人数学科に関しては2クラス制にし、それぞれに担任を配置しています。個々の特性を把握するために入学後に適性判断テストを実施し、専門家を通じて、在校生の特性を担任中心に把握できるシステムを構築しています。

退学率低減のため、担任面談・三者面談等を実施しています。各面談時には記録を作成し、学科長及び校長まで把握できる構造を構築しています。授業評価・出席数など本人及び保護者に向けた担任所見を添付した成績記録を学期末にて送付を実施。

本校では各種奨学金制度や各種授業料減免制度の案内を適切におこなっています。各種制度の整備は進んでいますが、希望者の申請書類の準備不足などもあり手続き未完の在在学生もいますので、さらに密な事務連絡を取れるようにすることが課題となります。

(6) 教育環境

進捗具合:3.7	特記事項:防災研修・防災訓練・備品調査
----------	---------------------

施設環境では校舎の修繕・改修作業を実施しました。学校生活がより良く過ごせるように、修繕箇所の選定、学生アンケートからの意見を収集して事業計画を進行。

現在、多様化する職業観に対応できるようIT系・AI系・3DCGなどのデジタル関連のカリキュラム開発が発展する見込みとなるため、3Dシミュレーターを導入し、新しいカリキュラム開発を実施しました。今後も学内DX化の事業計画を推進し、教育環境の整備と合わせて教職員の職場環境整備を進めていくことを重要視します。

防災体制については防災計画書を作成更新し、また教職員、在学生全員を対象に防災研修及び防災訓練を実施しています。様々な防災を想定した防災知識をさらに深めていくことが今後継続的に必要とされています。

学外実習として欧州海外研修・アジアトレンド研修を実施。専門課程の学生を対象にグローバルなデザイン教育の場面を開拓。海外デザインプログラムを新規開講し、海外実習までに国内研修を通じて様々な知識を蓄えられるカリキュラムを設定し、より良い海外デザイン教育へ発展させていくことを目標としています。

(7) 学生の受入れ募集

進捗具合:3.6	特記事項:オープンキャンパス・公式 Web サイト・SNS
----------	-------------------------------

本校は専修学校振興会に属し、募集活動全般において法令順守し活動しています。現在の学生募集においては、案内文書等以外に Web サイト、ソーシャルネットワークシステムを利用し、若年層への認識、理解度の向上に努めています。広報担当者を常時配置し、各種問い合わせ等に随時対応できる体制を整えています。年間計画書を年度始めに作成し、教職員へ共有し業務内容等を把握することができています。

全入学選考では入試判定会議を開催いたします。入学判定においても学園代表者・学校代表者・学科代表者・入試担当者と複数名の判定委員と協議し、適切かつ公平に入学選考をおこなうことができています。本校ではインターネット出願を導入し、出願者データを蓄積しながらタイムリーに各部署との連動につながっています。

募集定員数を満たしていない学科があり、学科・専攻によって大きく差が出ている部分がある。学校行事、カリキュラム編成などで少人数学科運営の影響が出てきているため、今後の大きな課題として認識をさらに高める必要があります。少子化がさらに進む中で「新たなデザイン教育の開拓」が必要であり、感性教育と技術教育のバランスも時代に適合させ、変化させていくことが必要である。

(8) 教育の内部質保証システム

進捗具合:3.4	特記事項:財務諸表・情報公開
----------	----------------

本校では学校自己点検・自己評価、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会など規定の条件を全て満たせるように活動ができています。また、各委員会等で収集した情報を集計・分析し情報公開が行えている。今後も収集、集計した情報をもとに、学校中長期運営計画、教育の質保証及び向上のための事業計画を進めていくことが必要であります。

個人情報保護に関しては規定を作成し、外部関係者等には公表しています。今後は新任教職員や学内関係者に向けての周知を強化することが必要と思われます。

(9)財務

進捗具合:3.7	特記事項:自己点検・自己評価報告書・情報公開
----------	------------------------

本校では理事会・評議会を開催し、事業計画及び予算計画、決算報告をおこなっています。それにともない、学園監事・公認会計士より会計監査も適切に受け、私立学校法に基づく財務情報公開の体制を整えて学校運営をしています。

今後も少子化傾向が続く見込みであり、収益環境もより厳しくなると考えられ、なお一層の努力が必要となります。

(10)社会貢献・地域貢献

進捗具合:3.3	特記事項:CtoC System・講師派遣
----------	-----------------------

本校では初等教育・中等教育機関における「キャリア教育」へ積極的に参加しています。高等学校への専門家派遣(講師派遣)や、岡山キャリアスタートウィークでの中学生職場体験受け入れ、小学校総合学習講話など早期のデザイン職業理解に努めています。地域との連携強化のため CtoCsystem を通じて、産学連携事業の推進活動を継続的に実施しています。

今後は中学校教員、高等学校教員向けのデザイン関連セミナーや講座開講を計画、また本校卒業生に向けての学び直しの場面提供の必要性を考察し、必要に応じて再教育プランを実施することが今後の課題となります。

4.総括及び次年度に向けて

令和6年度の自己点検・自己評価では前年度より大きく評価が下がる項目はありませんでしたが、特に抽出する項目は資格検定に対応するカリキュラム開発の必要性と思われます。デザイン教育の特性である「感性の育成」を継続しつつ、現代から未来に関わる必要性の高い「技能教育」「デジタルリテラシー教育」をバランスよく配分することが、これからのデザイン教育現場に必要と感じています。「感性」「技能」「社会性」と様々ある中で、技能習熟度を在学生本人が把握するためにも技能資格を取得することが自己啓発につながる一歩であると考え、新たなカリキュラムを構築していくことに必要性があると思われます。

安定した学校経営とデザイン教育の提供のため、「新しいデザイン教育の創造」をテーマに、多様性の時代、新しい職業観とマッチした学校運営体制を目指して、学校関係者全員にて努めて参ります。

令和6年度 学校自己点検・評価表

実施日： 令和7年6月1日

学校名： 中国デザイン専門学校

1. 学校の教育目標

信頼度の高い総合デザイン専門学校の確立をかね、その具体目標「教育指針」「学生指導」「育成する人材像」の実現をめざします。「デザイン教育の新たな創造」をテーマに、多様化する社会に向けた柔軟な教育現場を作り上げることが今後、大きな取り組み事項となることを全教職員と共有し、アパレル業界、デザイン業界、建築業界等に必要とされる職業人を育成するためにカリキュラムを常に見直し、教育の質向上をめざします。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

今後、IT・AI・3DCGなどのデジタル関連の授業が多様化するため、新たなカリキュラム設計を早期に計画し、その内容に合わせた設備改修を計画的に実施する。さらに新たなデザイン教育として海外デザインプログラムを開発し、専門課程を対象にグローバルなデザイン教育の場を開拓することを目標に活動する。将来的に少子化傾向がさらに進む中で、デザイン教育の必要性を広く若年層にも理解していただくことに力を入れ、入学定員数を満たすことを目標に学生募集活動計画を実施する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標(平均評価3.2)				適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)		
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	新年度打合せ資料・理事会評議会資料・学園組織図・企画会議議事録
1	1	2	学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	3	学校案内パンフレット・HP・学生便覧・保護者進学相談会配布資料
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4	新年度打合せ資料・理事会評議会資料・学園組織図・学生便覧
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	3	学校案内パンフレット・HP
1	2	中項目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)		
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	3	HP・学生便覧・教育課程編成委員会議事録
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	3	教育課程編成委員会議事録・インターンシップ企業アンケート・学校関係者評価委員会議事録・HP・交流会参加企業アンケート
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	3	学生便覧・HP・シラバス

① 課題

教職員及び在学生については会議・オリエンテーション等で周知伝達できている。学生便覧、学校案内パンフレットへ明文化し公表できている。業界ニーズ把握の取り組みは進んでいるが、デザイン学校としての特色はまだまだ明確化できると思われる。

② 今後の改善方策

短年度でPDCAに基づき、調査・分析を実施し事業計画書内に明文化し多くの学校内機関へ伝達する。学校の将来構想を含めて、3つのポリシー「ディプロマポリシー」「カリキュラムポリシー」「アドミッションポリシー」も含めて、見直し会議を実施する。

③ 特記事項

2 学校運営(平均評価3.6)				適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	エビデンス
2	1	中 項 目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)		
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	カリキュラム編成会議資料・事業計画書・事業報告書・新年度打合せ資料・理事会評議会資料・年間目標シート・企画会議議事録
2	2	中 項 目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)		
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	4	事業計画書・事業報告書・新年度打合せ資料・理事会評議会資料・年間目標シート・企画会議議事録
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	4	年間行事予定表・学則(授業期間)
2	3	中 項 目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)		
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	4	寄附行為、理事会・評議員会の議事録、法人の理事・監事・評議員名簿(役職・氏名・所属先等の明示)・企画会議・職員会議議事録
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	組織規則・運営組織表
2	3	3	組織機能図があるか	4	組織図・校務分掌表
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的 に開催されているか	4	年間行事予定表・職員会議議事録・職員会議議事録・教員ミーティング・新年度打ち合わせ会
2	3	21	出退勤管理簿があるか	4	出勤簿(タイムカード)・勤務予定表、就業規則
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	4	教職員健康診断の案内、教職員健康診断実施記録、医師の意見聴取記録、就業規則、特定健康診査結果一覧
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	4	備品調査・各点検報告書・物品滅失・破損報告書
2	4	中 項 目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)		
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	学園組織図・教職員名簿・実務経験者一覧・学校教職員研修基本規定・教職員年間研修計画書
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、 または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	3	新採用職員研修・教職員研修規程・キャリアアップ計画書・研修計画・研修申請書・報告書・校長面談
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	教職員研修会・学校教職員研修基本規定・教職員年間研修計画書

2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	3	教職員研修会・学校教職員研修基本規定・教職員年間研修計画書・研修報告書・自己点検・目標シート
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	2	講師全体会・講師分科会
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、 <u>専門能力開発の計画を作成しているか</u> (教職員研修計画の作成)	4	教職員研修会・学校教職員研修基本規定・教職員年間研修計画書・研修報告書・自己点検・目標シート
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	4	講師全体会・講師分科会(前期・後期)
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)		
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	4	就業規則・職員定年規程・人事委員会規程
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	4	給与規程、旅費支給規程・退職手当規程の取扱いに関する規程・日直手当一覧
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	3	給与規程・人事委員会規程
2	5	4	採用制度は文書化されているか	4	就業規則
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)		
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか (情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	3	学内ワークフローシステム・教務校務支援システム導入

① 課題

事業計画・組織運営に関わる事項では大きな問題点はない。教職員育成では教職員が個々に研修制度を利用している。組織的に人材育成のための研修会等が必要であり、学校組織全体で取り組む内容を社会ニーズに合わせて選出することが必要である。

② 今後の改善方策

教職員評価・育成項目では個人研修制度内で研修補助をおこなっている。学校研修基本規定を作成し、体系的かつ合理的に研修制度を利用できる仕組みを構築する。学校研修基本規定に基づいた個人研修年間計画書を教職員が作成できる環境づくりを実施している。

③ 特記事項

3 教育活動(平均評価3.3)				適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	エビデンス
3	1	中 項 目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)		
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	3	HP・学生便覧・教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	カリキュラム表・科目関連図・シラバスカリキュラムマップ・教育課程編成委員会議事録
3	2	中 項 目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)		
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	学生便覧・カリキュラム表・科目関連図・シラバスカリキュラムマップ・教育課程編成委員会議事録
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4	シラバス
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	コマシラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	4	HP・シラバス・講義概要・学生便覧
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	4	学生便覧・シラバス・出席簿・成績判定会議資料
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	2	教育課程編成委員会議事録・成績判定会議資料
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	3	学生アンケート
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	2	シラバス・出席簿・成績判定会議資料・職員会議議事録
3	2	41	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	3	教育課程編成委員会議事録・カリキュラムミーティング
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	3	教育課程編成委員会議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	キャリア教育シラバス・学生便覧

3	2	82	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	4	カリキュラム表・実務家教員シラバス・企業との協定書、DETDH報告書・学生便覧自主制作単位認定表
3	2	84	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	4	学生便覧カリキュラム表・職業実習協定書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)		
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	学生便覧・シラバス・出席簿・成績判定会議資料
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	3	学生便覧・成績表・担任所見表
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4	学生便覧・シラバス・出席簿・成績判定会議資料
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	4	職業実習企業アンケート・交流会参加企業アンケート・企業ガイダンス企業アンケート
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)		
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	3	学生便覧・目標資格・検定試験一覧・シラバス・カリキュラム表・科目関連図
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)		
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	3	学生便覧・目標資格・検定試験一覧・シラバス・カリキュラム表・科目関連図
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	2	外部講師派遣報告書

① 課題

定期的な授業観察、授業評価で授業担当者に向けてのフィードバックが行えていない。学生アンケートを年2回実施している中で授業評価項目を設定しているが、非常勤講師への開示と面談等が機能していない。

② 今後の改善方策

年2回実施している学生アンケートの質問記入項目の内容を精査する。授業アンケート項目を追加拡充し授業評価体制を整える。合わせて授業担当者(常勤講師・非常勤講師)へのフィードバックができる体制作りを構築する。

③ 特記事項

- ・授業シラバスのデータ管理システム導入。
- ・「キャリアセンター準備室」として新部署開設を準備。

4 学修成果・教育成果(平均評価2.8)				適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス
4	1	中 項 目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)		
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	4	進級制作合評会・卒業制作合評会
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	3	学生便覧・シラバス・成績判定会議資料
4	2	中 項 目	就職率(就職率の向上が図られているか)		
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	3	就職関連指導シラバス・就職活動報告書
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	3	就職関連指導シラバス・就職支援カード
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	3	就職支援カード・就職活動報告書
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	4	学校案内パンフレット・HP
4	3	中 項 目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)		
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	2	目標資格・検定一覧
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	3	学生便覧・検定試験一覧・科目関連図
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	2	目標資格・検定一覧
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	2	検定合否一覧表
4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか	2	学校案内パンフレット・HP
4	4	中 項 目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)		
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	3	卒業生調査・企業アンケート・企業訪問報告書

① 課題

取得資格検定数及び資格取得率の向上が課題となる。カリキュラム上の改善、在学生への認知、キャリア教育との連動性の向上が必要である。資格・検定への目標設定、検証報告会は実施していない。

② 今後の改善方策

キャリア教育及び専門技術向上のため資格取得に関しては重点改善項目として取り組む。カリキュラム編成時に資格取得目標を定め、年間報告を実施することで学内共有を図る。学科ミーティングの中でも情報共有を実施する。

③ 特記事項

・「キャリアセンター準備室」として新部署開設を準備。

5 学生支援(平均評価3.4)				適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	エビデンス
5	1	中 項 目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように 図っているか)		
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	4	面談記録・保護者連絡記録・学生個別面談・修学 支援の一環としての奨学金の説明会
5	2	中 項 目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)		
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されている か(またそれはきちんと学生や保証人(保護者) に周知されているか)	3	学生便覧・就職ガイダンス・三者面談記録・保護 者連絡記録
5	3	中 項 目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)		
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか)	2	学生便覧
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	4	学生面談記録・保護者連絡記録
5	4	中 項 目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備して いるか)		
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する 支援体制は整備されているか	4	募集要項・奨学金説明会資料
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生 の健康診断を実施しているか、また健康相談窓 口は整備されているか)	4	健康診断・年間行事予定表
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されている か	4	学生便覧・HP・カリキュラム表・シラバス・自主制 作判定会議
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか (学生のアパート探しなど、住環境への支援体 制はあるか)	4	住宅あっせん案内・住宅案内パンフレット
5	5	中 項 目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)		
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出 欠状況及び学習者の減少に関する分析が行わ れているか)	3	学生面談記録・保護者連絡記録・教員ミーティ ング・担任所見記録
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	4	事業計画書・年間目標シート
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に 共有されているか	4	事業計画書・職員会議議事録・年間目標シート
5	5	4	退学者数を公表しているか	4	HP・職業実践専門課程別紙様式4
5	6	中 項 目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)		
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証 人のニーズを把握しているか)	4	面談記録・保護者連絡記録
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を 行っているか	4	高等課程保護者面談(年2回) 専門課程2年次 保護者面談(1回)
5	7	中 項 目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)		
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就 職、キャリアアップ等について、相談に乗って いるか)	2	卒業生調査・同窓会議事録・既卒求人票・HP
5	7	21	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか (卒業生への講習・研修を行っているか)	1	公開講座
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整 備されているか	3	1年課程シラバス・学校案内パンフレット・HP

① 課題

取得資格検定数及び合格取得率の向上が課題となる。カリキュラム上の改善、在学生への認知、キャリア教育との連動性の向上が必要である。資格・検定への目標設定、検証報告会として全体共有ができていない。

② 今後の改善方策

学校資格検定の基本計画を体系的にまとめ、学内全体へ共有する。カリキュラム編成時に学校基本計画のもと、各学科が社会ニーズに合わせた資格検定を定めてカリキュラム開発を実施する。在学生へはキャリア教育の一環としての認知を高める。

③ 特記事項

- ・「キャリアセンター準備室」として新部署開設を準備。
- ・退学者数11名(在校生数／5.9%)

6 教育環境(平均評価3.7)				適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	エビデンス
6	1	中 項 目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)		
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ 無理なく配備されているか)	3	学校設置認可申請書・教室配置図・時間割・専修学校報告書・学生便覧
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4	資産目録・図書台帳
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	3	備品台帳・備品調査
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	4	学生便覧
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	4	用務日報
6	1	41	施設・設備の点検・補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	3	点検・修繕記録表・電気設備点検記録報告書・昇降機保守点検報告書
6	2	中 項 目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)		
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	企業連携協定書・シラバス
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか	4	企業連携協定書
6	3	中 項 目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)		
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	危機管理マニュアル・学生便覧・緊急連絡網表
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	4	消防用設備点検報告書・警備業務請負契約書
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	4	教職員防災研修記録・学生避難訓練記録
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	4	設備管理者一覧表・各種設備の定期点検票・危機管理マニュアル

① 課題

防災に関わる事項では教職員、在学生に対しての研修及び訓練等は実施できている。また消防点検を中心に各所法的点検等は実施できている。常勤教職員以外の関係者への防災伝達の情報が少ない現状である。

② 今後の改善方策

学科により在籍者数が大きく異なるため、教室配置や設備について学科に合わせて配置が必要となる。クラス分散や教室分散など、適切数に合わせて時間割を構築する事が必要である。また、防災に関しては非常勤講師への伝達・講習を分科会等で実施する。

③ 特記事項

- ・「3Dアパレルシミュレーション」導入
- ・デジタル機器の増設計画

7 学生の受入れ募集(平均評価3.6)				適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	エビデンス
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)		
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	学校案内パンフレット・HP・オープンキャンパス関連・アンケート入学数
7	1	2	入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	3	アドミッションポリシー・学校案内パンフレット・HP・学生便覧
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	3	学校案内パンフレット・HP・産学連携システムリーフレット
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	4	インターネット出願システム・年間目標シート・月次報告書・学校案内パンフレット
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	4	学園組織図・お問い合わせ専用フォーム
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	4	オープンキャンパス配布資料・保護者・高校教員対象学校説明資料・HP・学校案内パンフレット
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	4	入学前学校研修会・プレスクール
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)		
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	3	学校案内パンフレット・HP・インターネット出願システム
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	4	入学願書・入試判定会議書類・面接評価表
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)		
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	4	募集要項・学則変更届
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	オープンキャンパス配布資料・保護者・高校教員対象学校説明資料・HP・学校案内パンフレット

① 課題

学生募集は年間通じて実施している。オープンキャンパス、進学ガイダンス等を通じて学校情報を広く伝えている。学科により入学人数の増減幅が大きくなっているため、クラス編成や教員編成などに偏りが出ている。

② 今後の改善方策

デザイン学校の特色を最大限に伝えるために、現社会に合わせてデジタルメディアを中心に認知度を向上させる。入試制度・奨学金制度が複雑になりやすいため、パンフレットやホームページを改修し適切な情報伝達に向けて管理運営する。

③ 特記事項

・公式ホームページの完全リニューアル準備

8 教育の内部質保証システム(平均評価3.4)				適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	エビデンス
8	1	中 項 目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)		
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	理事会評議会資料・企画会議資料
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	学園組織図・諸規定集
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	4	理事会評議会資料・諸規定集
8	2	中 項 目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)		
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3	個人情報保護規程・プライバシーポリシー
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	4	個人情報取扱規程
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	2	教職員研修会・講師全体会
8	3	中 項 目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)		
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	4	学校自己点検・評価報告書・事業報告書・事業計画書・学校関係者評価委員会議事録
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	4	自己点検・評価報告書・学校関係者評価表
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	3	企画会議組織・学園組織図
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4	学校関係者評価委員会議事録・委員会名簿
8	4	中 項 目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)		
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	3	職員会議議事録・職員研修会
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校のエデュケーション活動の改善に活用されているか	3	卒業生動向調査資料・企業アンケート
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	3	企画会議議事録・職員会議議事録・事業計画書
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3	企画会議議事録・職員会議議事録・事業計画書
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	3	企画会議議事録・職員会議議事録・事業計画書
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3	企画会議議事録・職員会議議事録・事業計画書
8	5	中 項 目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)		
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程別紙様式4、HP
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	4	自己点検・評価報告書・HP・情報公開資料
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	4	学校関係者評価報告書・HP・情報公開資料

① 課題

学校自己点検・自己評価、学校関係者評価は全て実施できている。学校自己点検評価集計、学校関係者評価集計を完了し情報公開をおこなっている。個人情報規定は明文化できているが、学内研修等での周知拡大ができていない。

② 今後の改善方策

学校自己点検・自己評価、学校関係者評価等から得た情報を元に、学校運営・教育の質向上に向けた計画を継続して実施。個人情報規定に関しては新採用研修・教職員研修を通じて周知を行う。

③ 特記事項

9 財務（平均評価3.7）				適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）		
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4	財産目録・貸借対照表・資金収支計算書・活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書・事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	3	事業活動収支予算書、資金収支予算書、活動区分資金収支予算書、事業計画書
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）		
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	事業活動収支予算書・資金収支予算書・活動区分資金収支予算書・理事会・評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3	会計伝票・稟議書
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）		
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4	会計監査報告書（公認会計士）・監査報告書（監事）
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）		
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4	情報公開資料・HP・理事会・評議員会議事録
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	4	情報公開資料・HP・理事会・評議員会議事録

① 課題

学校情報公開を主に財務・予算収支計画等を準備公開できている。理事会・評議委員会を定期開催し、確認をおこなっている。

② 今後の改善方策

予算及び計画に関して中長期計画を明確にし、適正に執行管理を行っていく。

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献(平均評価3.3)			適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)	
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3 キャリアスタートウィーク記録
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3 公共職業訓練等受託契約書・職業体験受け入れ
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)	
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4 自主制作判定会議記録

① 課題

公共職業訓練等の教育訓練講座開講時に受講者数が少ない講座もある。

② 今後の改善方策

時代・社会のニーズに合わせた職業訓練講座の開発の必要性が高い。また若年層に向けたキャリア教育の拡充を推進する。

③ 特記事項

・キャリアスタートウィーク、キャリア教育連携校数20校(小学校・中学校・高等学校)